

対象学年:第2学年以上
 領域・単元等 地理的分野 「日本の地域的特色と地域区分」

1. 作成の趣旨

生徒が資料を活用して考察する際の、板書や提示する資料等の参考となるよう、本問題を作成しました。複数の資料を活用して、思考したり判断したりする力を身に付けることをねらいとしています。

【関連する学習指導要領の内容】

- 日本の資源・エネルギー利用の現状, 国内の産業の動向、環境やエネルギーと産業に関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。
 地理C(2)[知識及び技能]ア(ウ)
- 日本の地域的特色を, ①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。地理C(2)[思考力, 判断力, 表現力等]イ(ア)

2. 活用場面等(例)

例1【本時の授業や単元最後の活用問題として】
 〈東京書籍・教育出版・帝国書院（地理）第2学年6～7月頃〉

⇒活用後について

- ・定着が十分ではなかった場合は、資料を読み取るために、タイトルの意味、グラフの縦と横の単位、変化の大きさや割合等に着目して考えさせましょう。
- ・複数の資料から読み取ったことを1つずつ整理して、共通点や相違点などに着目させましょう。

例2【授業での板書として】

⇒留意点

- ・読み取ったことを活用して考えるという生徒の思考の流れに沿った板書となるよう、記述する順番を工夫したり、矢印(→)等を効果的に使ったりしましょう。
- ・生徒が、根拠となる資料を活用して発表することができるよう、活用した資料を明記するようにしましょう。

3. 資料を活用して、思考したり判断したりする授業の充実に向けて

○資料を活用して、思考したり判断したりする授業を行う際、「収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能」が重要になります。まずは、どのような「情報を読み取る技能」が必要なのか整理し、資料を活用する学習活動を充実させましょう。(学習指導要領解説－社会編－p186～187「社会的事象について調べまとめる技能」より)

収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能の例(抜粋)

- 【1】情報全体の傾向性を踏まえて、位置や分布、広がり、形状などの全体的な傾向を読み取る
- 【2】必要な情報を選んで、事実を正確に読み取る
 (例えば、形状、色、数、種類、大きさ、名称などに関する情報など)
- 【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして、異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり、結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
- 【4】資料の特性に留意して、地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る

このグラフは、折れ線グラフだから、日本人の1年間1人あたりの米の消費量の変化が分かるね。

昭和40年をピークに全体的に減っているね。

その理由は、資料2の表を見ると分かるんじゃないかな。